



# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会

パイオニア株式会社  
代表取締役 兼 社長執行役員  
小谷 進

2018年2月9日

## 本日の発表のポイント

### 1. 2018年3月期 第3四半期 連結決算実績:

- 前年同期比では、主にカーエレクトロニクスの減収により、当四半期、9ヵ月通期ともに売上、営業利益は減少。当期純損益は、当四半期は為替差損の減少等により改善したが、9ヵ月通期では為替差損の拡大により悪化
- 計画比では、主にカーエレクトロニクスの減収により、売上、営業利益、当期純損益ともに計画を下回った

### 2. 2018年3月期 連結業績予想:

- 通期予想は、直近のカーエレクトロニクス市販製品の販売動向や、売上減に伴う原価率の悪化等を反映し、売上 3,700億円、営業利益 50億円、当期純損益 -30億円に修正

## 本日の説明

1. 2018年3月期 第3四半期連結決算
2. 2018年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

---

# 1. 2018年3月期 第3四半期連結決算

---

## 2018年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 連結業績概要

(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期		
	前年同期	当四半期	前年同期比	前年同期	当期	前年同期比
売上高	984	<b>947</b>	96.2%	2,888	<b>2,709</b>	93.8%
営業利益	19	<b>1</b>	3.4%	34	<b>21</b>	62.3%
経常損益	-10	<b>-18</b>	-	19	<b>-22</b>	-
当期純損益*	-40	<b>-29</b>	-	-30	<b>-55</b>	-

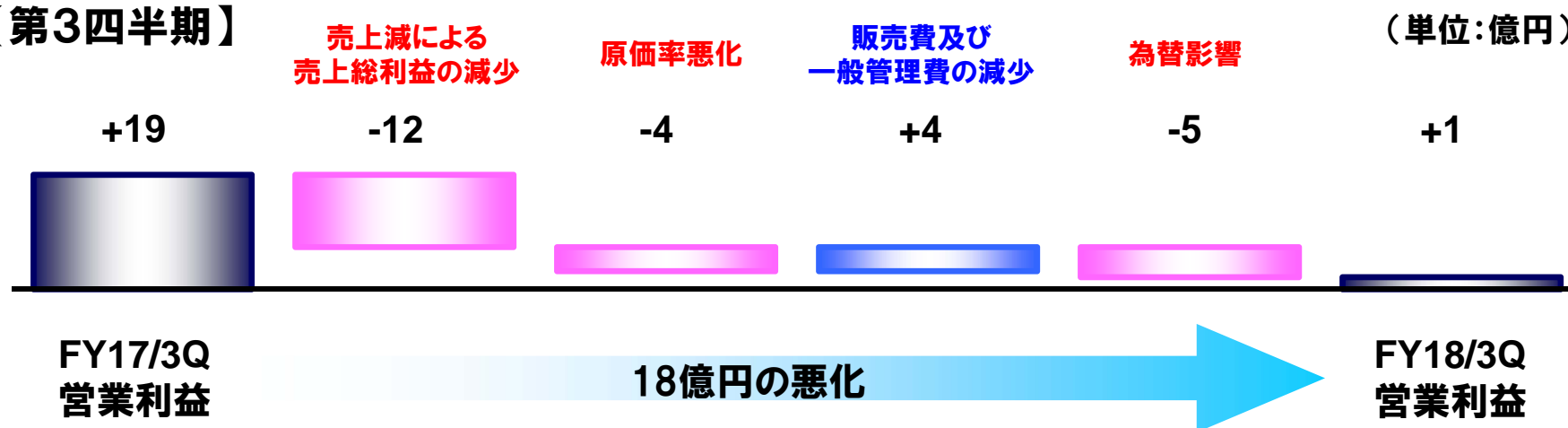
1株当たり純損益*	-10.88円	<b>-7.56円</b>	+3.32円	-8.25円	<b>-14.85円</b>	-6.60円
ROE	-19.8%	<b>-13.8%</b>	+6.0%	-4.8%	<b>-8.9%</b>	-4.1%
1株当たり純資産	228.42円	<b>219.39円</b>	-9.03円			
ROA	-5.6%	<b>-3.9%</b>	+1.7%	-1.4%	<b>-2.5%</b>	-1.1%

\* 親会社株主に帰属する当期純損益

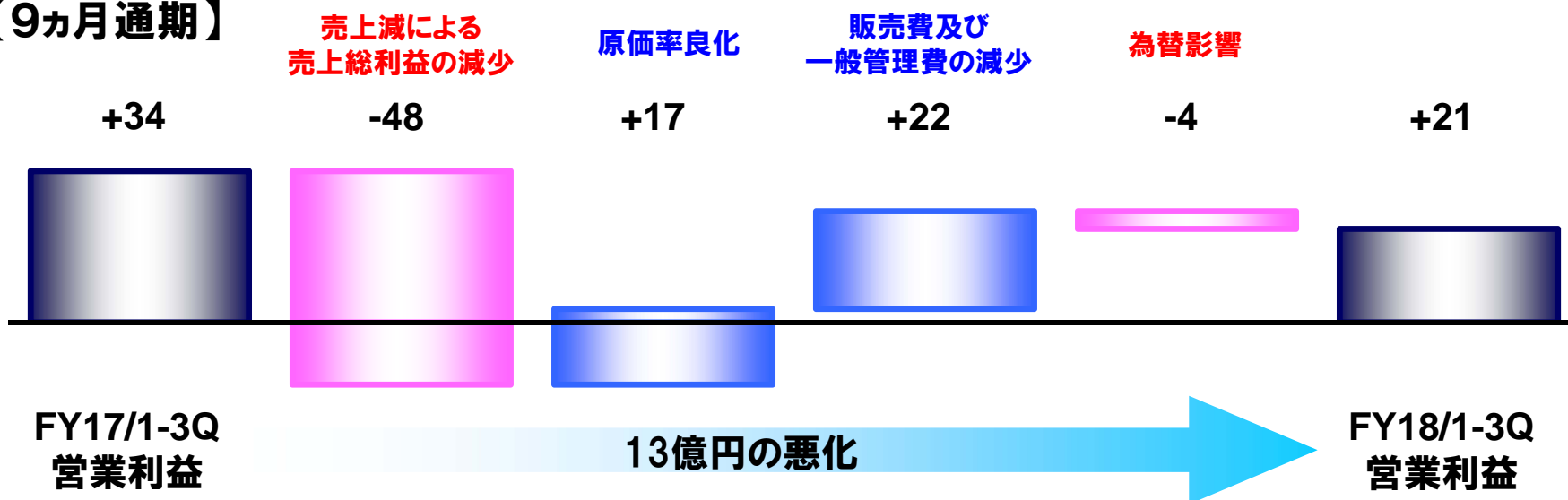
為替 平均レート	1米ドル	109.30円	<b>112.98円</b>	+3.3%	106.63円	<b>111.70円</b>	+4.5%
	1ユーロ	117.78円	<b>133.01円</b>	+11.5%	118.02円	<b>128.53円</b>	+8.2%

## 2018年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 営業利益増減要因

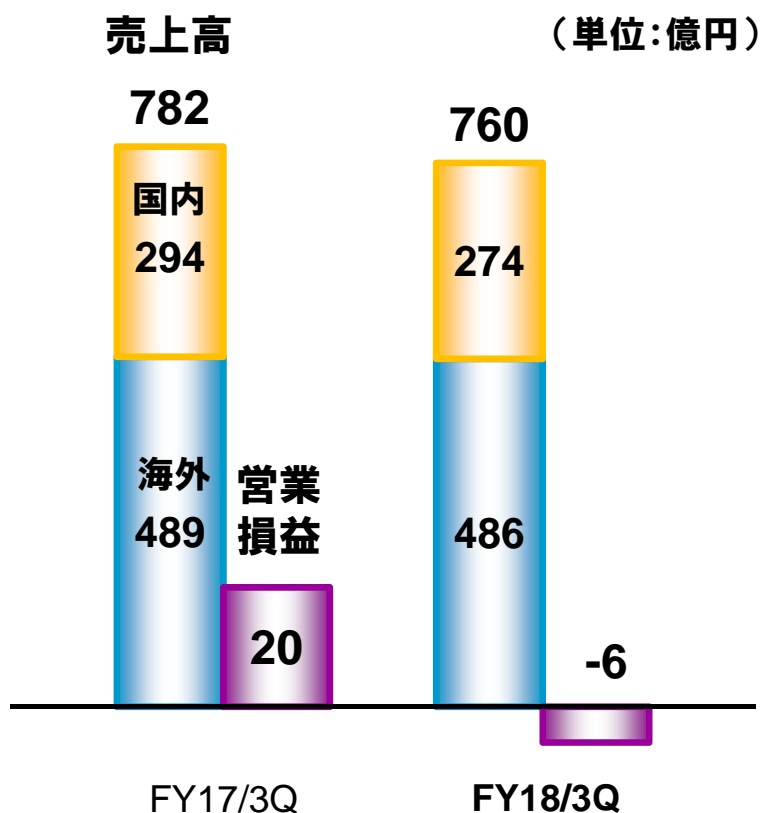
### 【第3四半期】



### 【9ヵ月通期】



## 2018年3月期 第3四半期：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

### < 売上高 > OEM比率 58% (前年同期 59%\*)

前年同期比	97% (国内 93%、海外 99%(現地通貨ベース 94%))
増収要因	テレマティクスサービス、OEMカーオーディオ、地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム 市販カーオーディオ

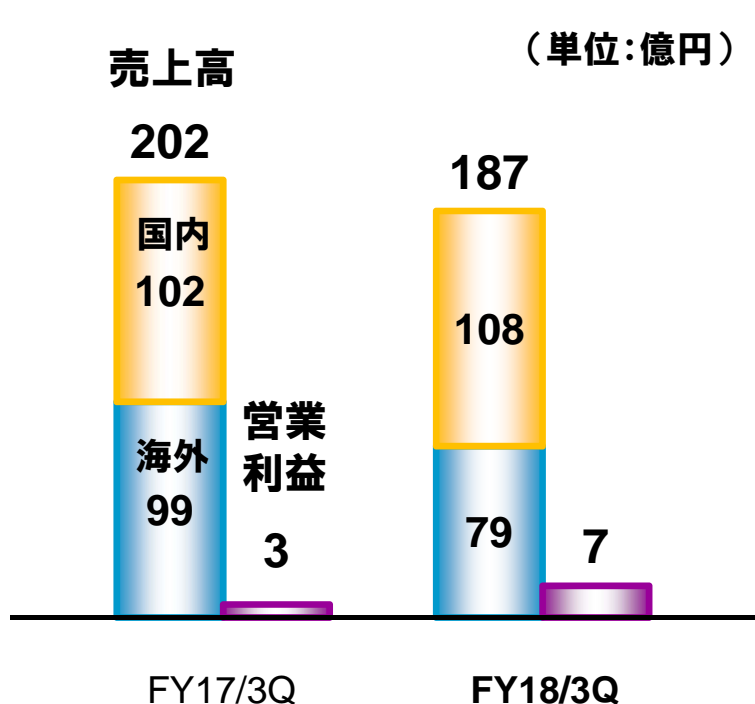
### < 営業損益 >

前年同期比	26億円の悪化
良化要因	特になし
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 販売費及び一般管理費の増加 原価率の悪化 為替影響

※ 当セグメントに含まれる主要製品：  
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、  
カースピーカー、地図ソフト

\* 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前年同期の数値についても組替表示しています。

## 2018年3月期 第3四半期：その他



### < 売上高 >

前年同期比	93% (国内 106%、海外 79%(現地通貨ベース 76%))
増収要因	DJ機器(生産・販売受託)、光ディスクドライブ
減収要因	CATV関連機器(事業譲渡)、ホームAV

### < 営業利益 >

前年同期比	5億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少

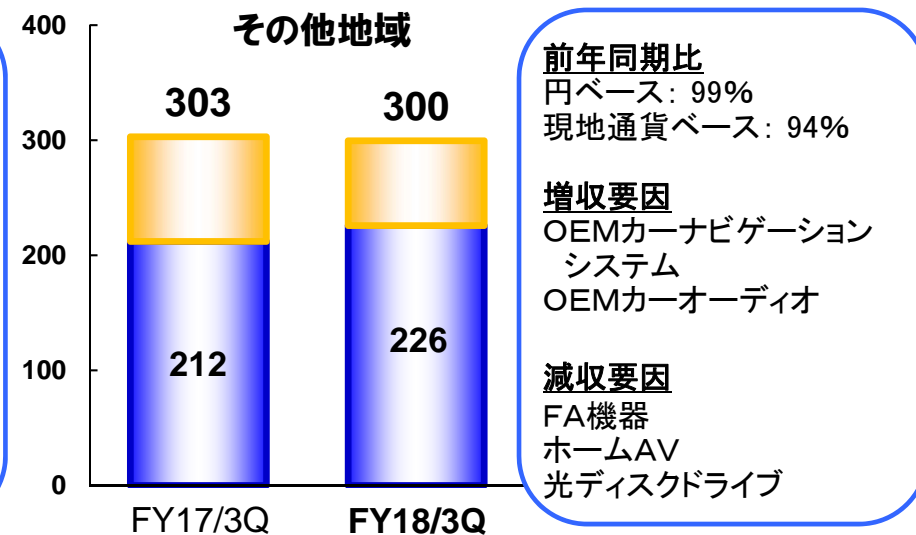
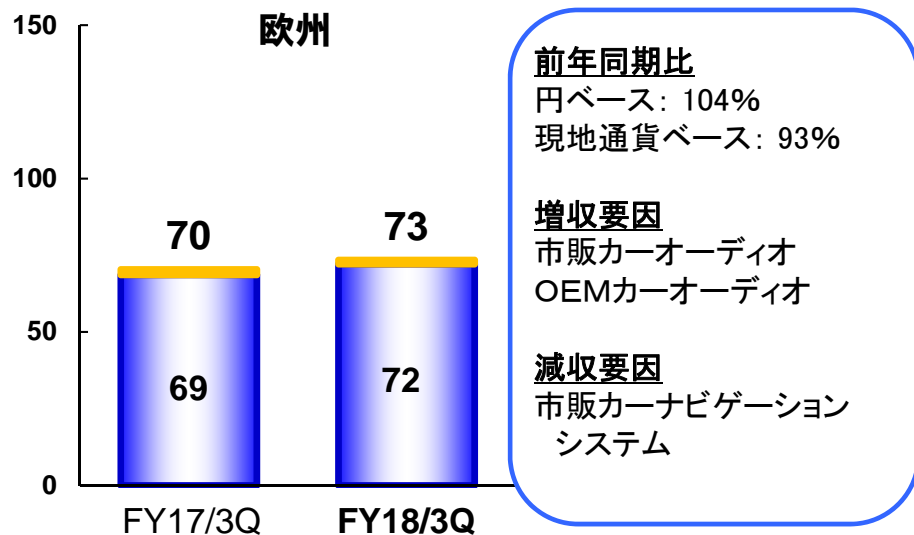
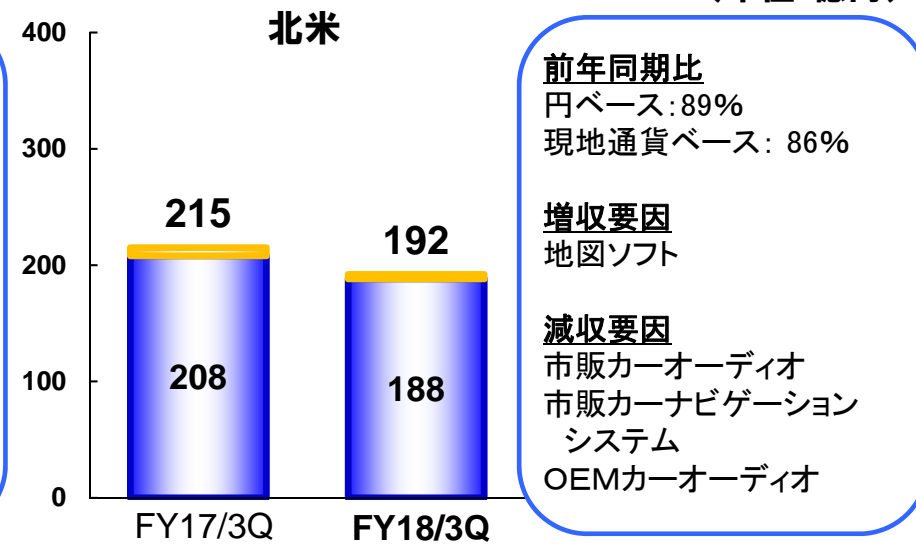
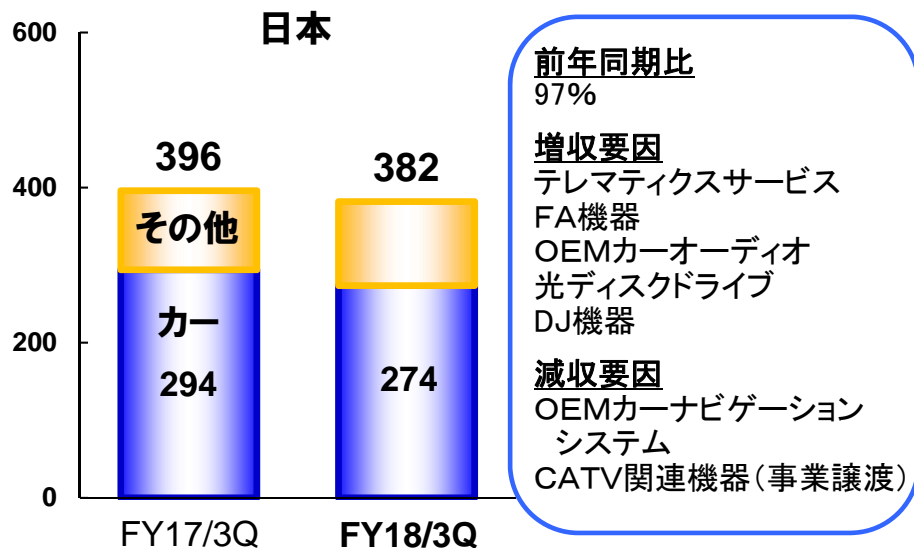
※ 当セグメントに含まれる主要製品:  
光ディスクドライブ関連製品、FA機器、電子部品、  
有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。



## 2018年3月期 第3四半期：地域別売上高

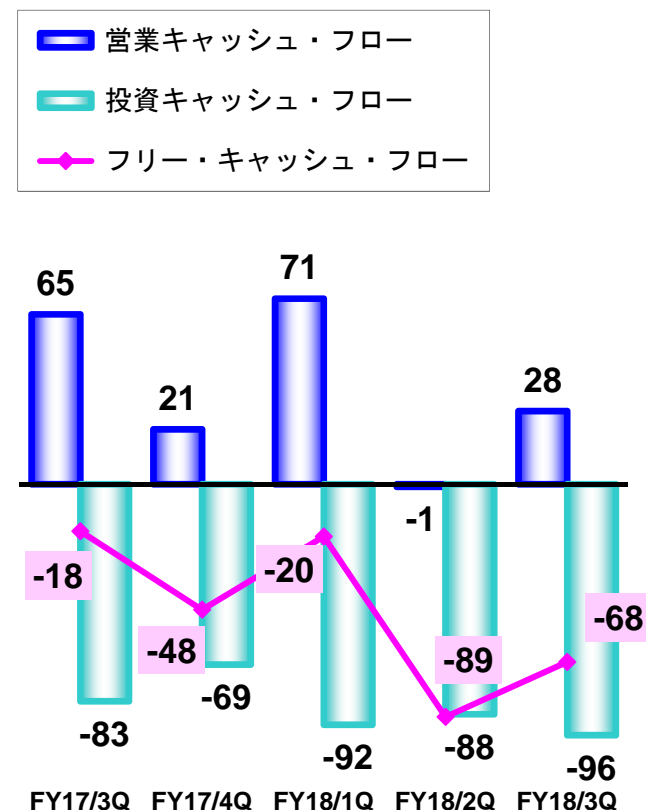
(単位:億円)



## 2018年3月期 第3四半期・9ヵ月：連結キャッシュ・フロー計算書

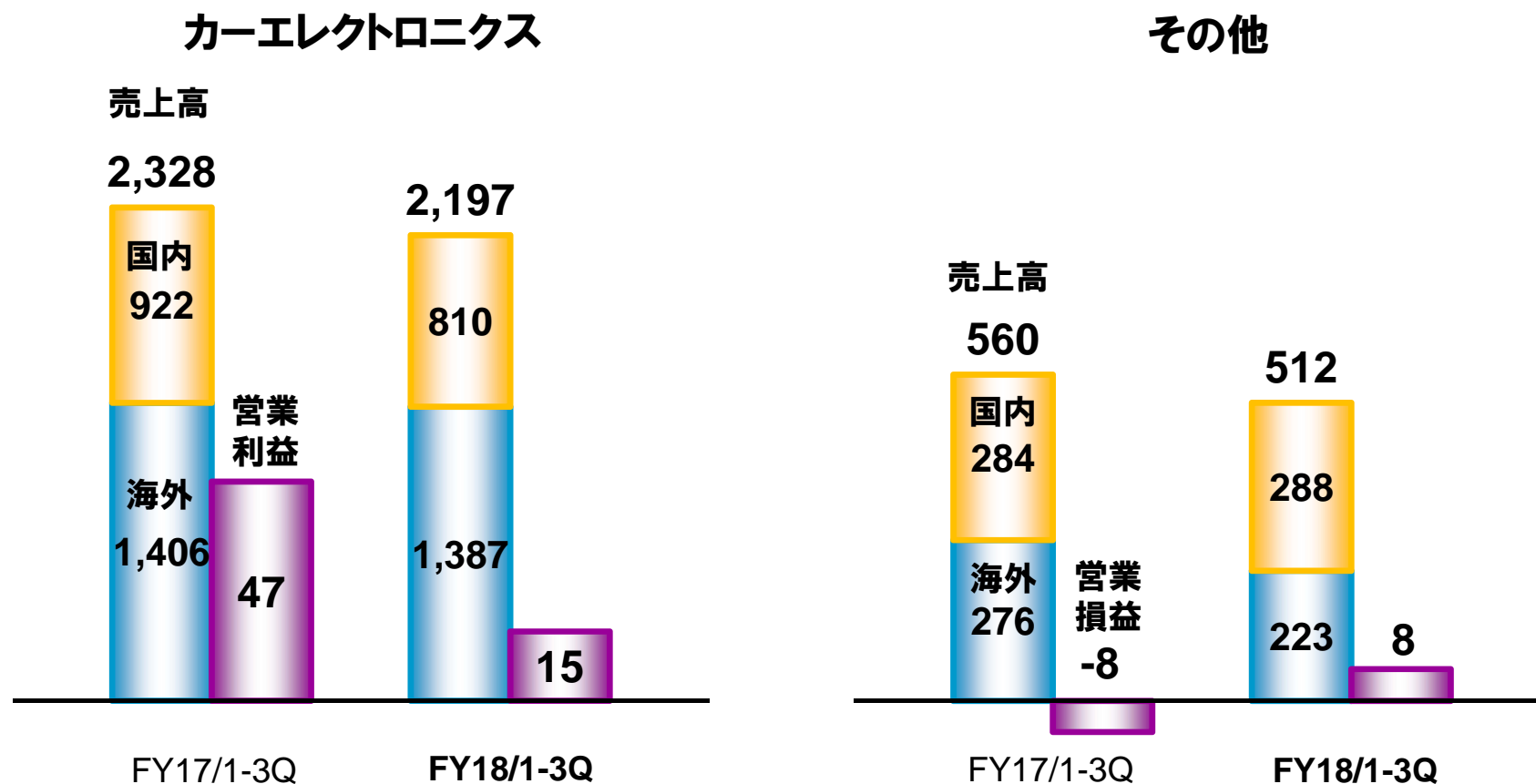
	第3四半期		9ヵ月通期	
	前年同期	当四半期	前年同期	当期
税金等調整前当期純損益	-32	-17	-12	-32
減価償却費	63	55	189	151
売上債権の増減	41	18	104	50
棚卸資産の増減	3	-3	-39	-45
仕入債務の増減	-41	-22	-40	-15
未払費用の増減	-8	-24	-12	-25
その他	38	22	-16	14
営業キャッシュ・フロー	65	28	175	98
投資キャッシュ・フロー	-83	-96	-271	-275
財務キャッシュ・フロー	-6	107	27	161
現金・現金同等物の換算差額	33	3	1	11
フリー・キャッシュ・フロー	-18	-68	-96	-177
現金・現金同等物の増減	9	42	-69	-6
現金・現金同等物の残高	451	378		
NETキャッシュ残高	48	-139		

(単位:億円)



## 2018年3月期 9ヵ月通期 セグメント別売上高・営業損益

(単位:億円)



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

---

## 2. 2018年3月期 連結業績予想

---

## 2018年3月期：通期連結業績予想

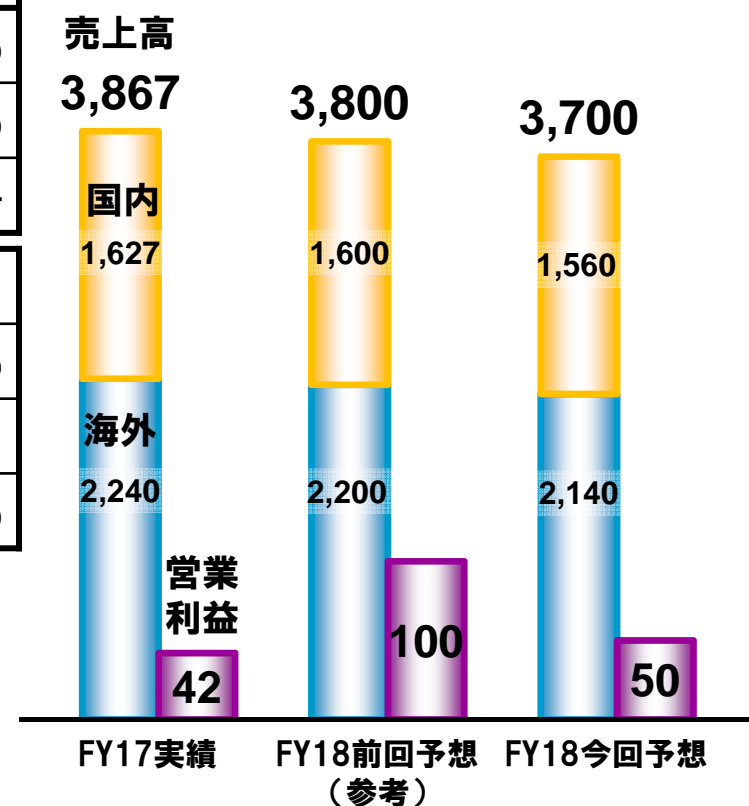
(単位:億円)

	前期実績	前回予想	今回予想	前期比
売上高	3,867	3,800	<b>3,700</b>	95.7%
営業利益	42	100	<b>50</b>	120.0%
当期純損益*	-51	35	<b>-30</b>	-
1株当たり純損益*	-13.76円	9.39円	<b>-8.05円</b>	+5.71円
ROE	-6.0%	4.0%	<b>-3.6%</b>	+2.4%
1株当たり純資産	224.72円	241.87円	<b>226.02円</b>	+1.3円
ROA	-1.7%	1.2%	<b>-1.0%</b>	+0.7%

\* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替 前提レート	1米ドル	108.38円	110.53円	<b>111.22円</b>
	1ユーロ	118.79円	127.14円	<b>129.49円</b>

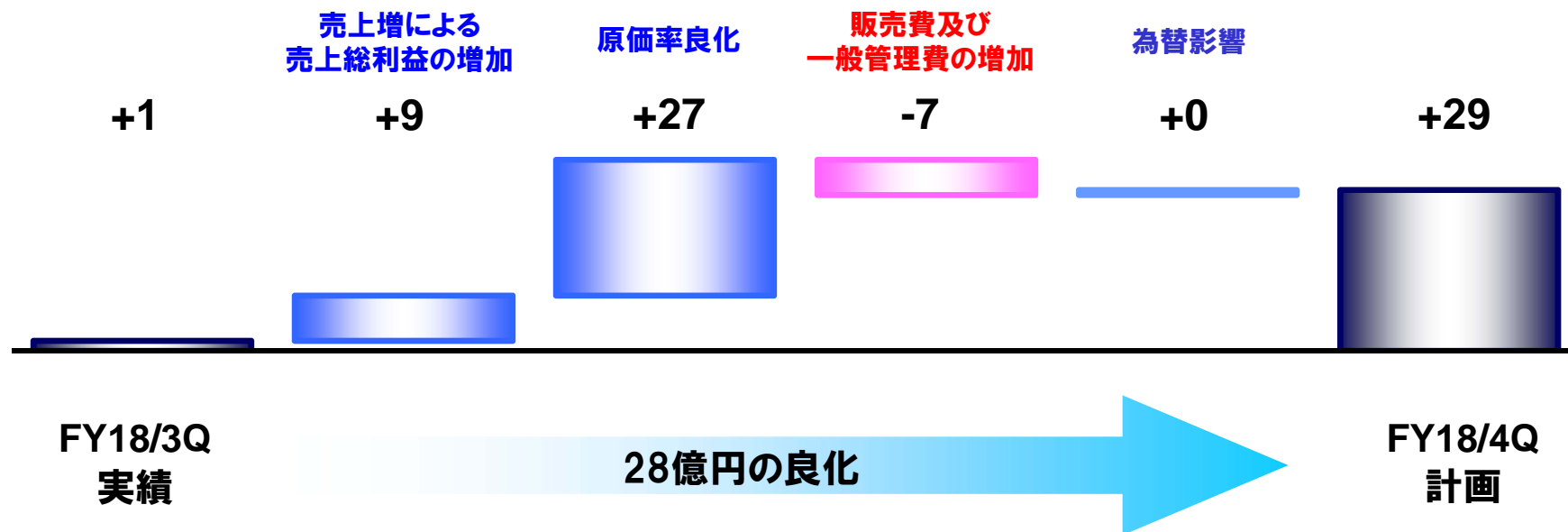
(単位:億円)



- 注) 1. 残り3カ月間の予想レートは、1米ドルは110円、1ユーロは135円を前提にしています。  
 2. 1円の円高インパクト(残り3カ月間)は、売上高では、USDは▲約4.4億円、ユーロは▲約0.5億円、営業利益では、米ドルは+約0.5億円、ユーロは▲約0.3億円。

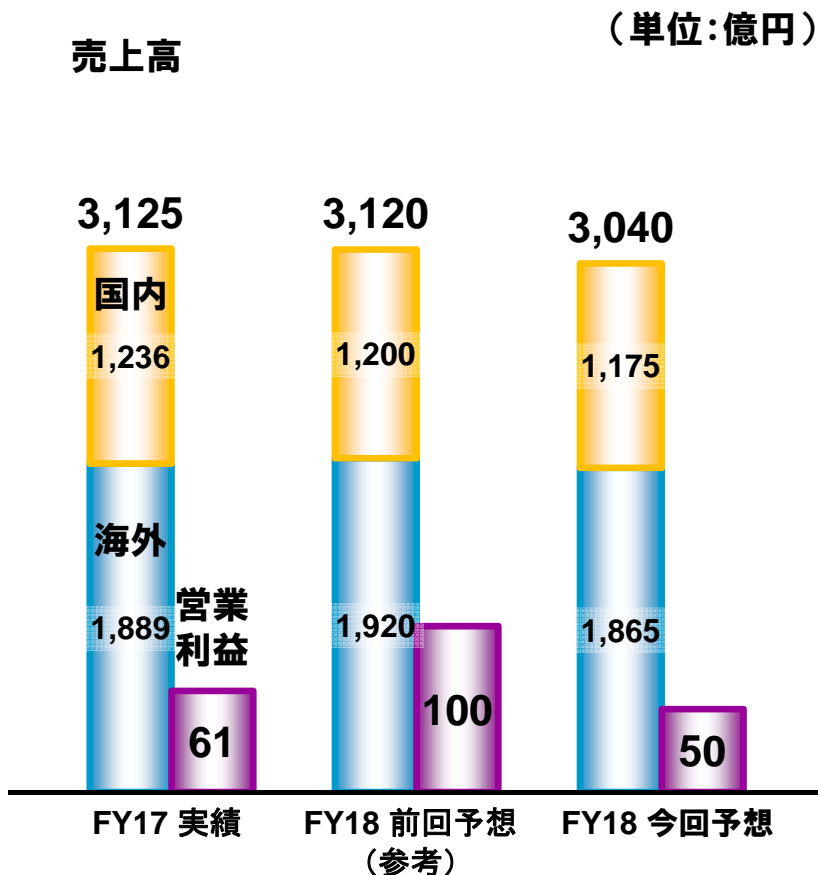
## 2018年3月期予想：第4四半期 営業利益（第3四半期比較）

（単位：億円）



- 売上高は、主にカーエレクトロニクスの市販が増加する計画
- 原価率は、市販の売上増による事業ミックスにより良化する見込み
- 売上増に伴い、販売費及び一般管理費は増加する見込み

## 2018年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

\* 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前期の数値についても組替表示しています。

### < 売上高 > OEM比率 57% (前期 60% \*)

前期比	97% (国内 95%、海外 99% (現地通貨ベース 94%))
増収要因	市販カーオーディオ、OEMカーオーディオ、テレマティクスサービス、地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム、市販カーナビゲーションシステム
対前回予想	97% (国内 98%、海外97%)
増収要因	OEMカーオーディオ、テレマティクスサービス
減収要因	市販カーオーディオ、OEMカーナビゲーションシステム、市販カーナビゲーションシステム

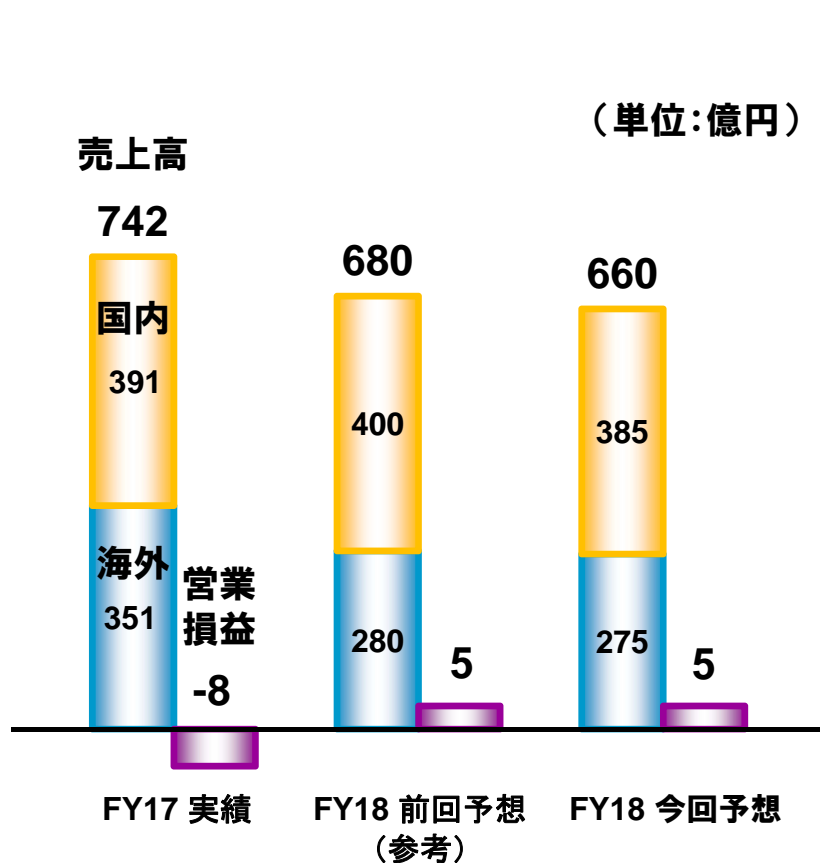
### < 営業利益 >

前期比	11億円の悪化
良化要因	原価率の良化、販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 為替影響
対前回予想	50億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	原価率の悪化、売上減による売上総利益の減少

### < 出荷台数 > (単位:千台)

	FY17実績	FY18前回予想	FY18今回予想
市販カーナビ	568 *	580	540
市販カーCD	5,834	6,000	5,400
市販カーAV	1,367	1,700	1,500

## 2018年3月期予想：その他



### < 売上高 >

前期比	89% (国内 99%、海外 78%(現地通貨ベース 76%))
増収要因	DJ機器(生産・販売受託)
減収要因	ホームAV、CATV関連機器(事業譲渡)
対前回予想	97% (国内 96%、海外 98%)
増収要因	特になし
減収要因	FA機器

### < 営業損益 >

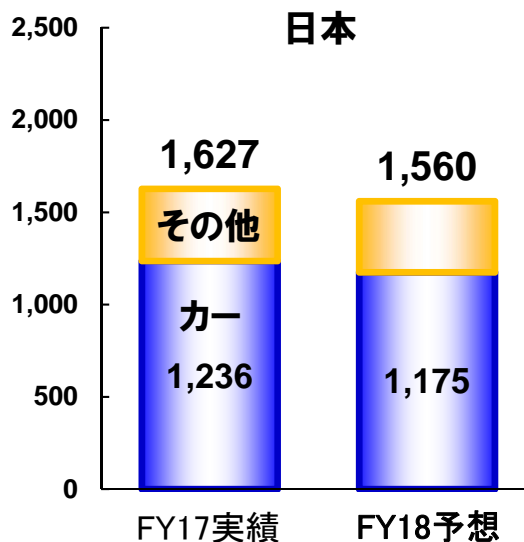
前期比	13億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少 為替影響
悪化要因	売上減による売上総利益の減少
対前回予想	変化なし

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。



## 2018年3月期予想：地域別売上高

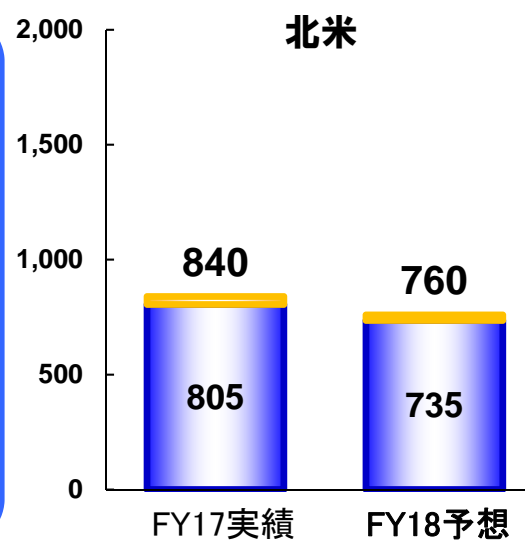
(単位:億円)



**前期比**  
96%

**増収要因**  
テレマティクスサービス  
地図ソフト  
OEMカーオーディオ  
DJ機器

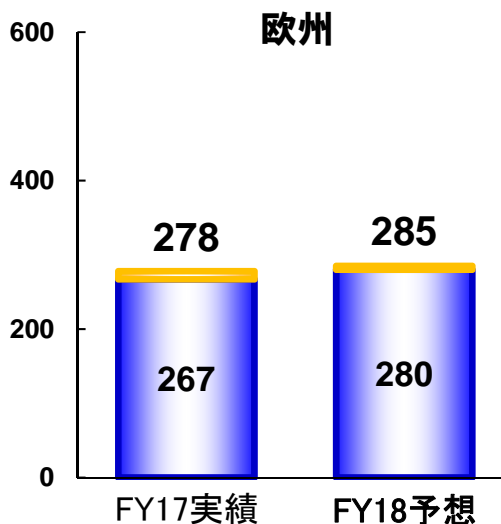
**減収要因**  
OEMカーナビゲーションシステム  
CATV関連機器(事業譲渡)



**前期比**  
円ベース: 90%  
現地通貨ベース: 88%

**増収要因**  
特になし

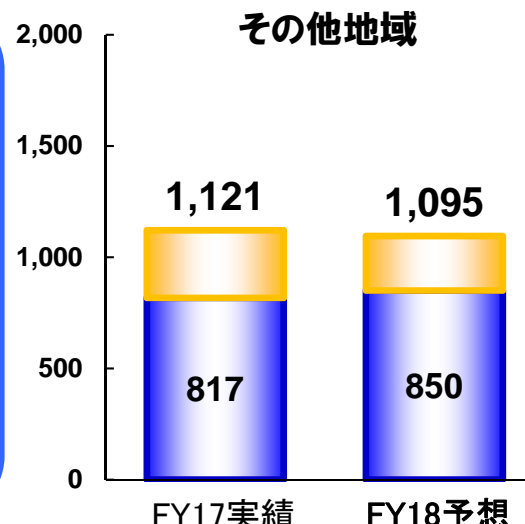
**減収要因**  
OEMカーナビゲーションシステム  
OEMカーオーディオ  
市販カーナビゲーションシステム



**前期比**  
円ベース: 103%  
現地通貨ベース: 93%

**増収要因**  
市販カーオーディオ

**減収要因**  
特になし



**前期比**  
円ベース: 98%  
現地通貨ベース: 94%

**増収要因**  
市販カーオーディオ  
OEMカーオーディオ

**減収要因**  
ホームAV  
OEMカーナビゲーションシステム

## 2018年3月期予想：財務指標

(単位:億円)

	FY17実績	FY18前回予想	FY18今回予想
研究開発費 (売上高比率)	239 (6.2%)	250 (6.6%)	<b>250</b> <b>(6.8%)</b>
設備投資	352	380	<b>350</b>
減価償却費	249	215	<b>215</b>
棚卸資産	498	520	<b>530</b>
営業キャッシュ・フロー	196	230	<b>180</b>
投資キャッシュ・フロー	-340	-405	<b>-375</b>
財務キャッシュ・フロー	14	65	<b>150</b>
フリー・キャッシュ・フロー	-144	-175	<b>-195</b>
純資産	868	960	<b>900</b>
自己資本比率	29%	31%	<b>29%</b>
D/E比率	0.5倍	0.5倍	<b>0.6倍</b>
NETキャッシュ残高	-8	-150	<b>-160</b>

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

***Pioneer***